

Focus

自然界の物質や知恵を活用する

人間は自然の一部として、自然を利用して生きている。食べるもの、着るもの、住むところ、多種多様な道具やエネルギーまで、自然の恵みを活用することで、文明を発展させ、豊かな社会を築いてきた。一方で、急速な文明の発展は資源の枯渇や温暖化を招き、地球環境を大きく変えてしまった。

自然との向き合い方を見直し、自然といかに共生しながら持続可能な発展を実現するかが問われるようになった今日、自然の活用の

あり方も新たな方向性が模索され始めている。

例えば、自然界の知恵に学び、生物の酵素を利用した食品づくりなどが古くから行われてきたが、酵素の持つ力を化学工業に応用すれば、環境にやさしい物質生産が可能になる。また、水の中に生息する藻類は、これまで食品などに利用されてきたが、そのオイル生産能力は、燃料や有用物質の生産にも利用できる可能性がある。こうした自然界の物質や知恵を活用する研究を紹介する。

